

大阪市の推計人口年報（平成28年）

～平成28年10月1日現在の推計人口と1年間の人口異動の動向～

平成29年2月

大 阪 市

目 次

1	人 口 総 数	1
2	男 女 別 人 口	1
3	世 帯 数	2
4	区 別 人 口	2
5	区 別 世 帯 数	5
6	人 口 異 動	7
7	年 齢 別 人 口	12

《利用上の注意》

・推計方法について

推計人口（毎月1日現在）は、平成24年7月までは、「住民基本台帳」及び「外国人登録」の月々の増減を国勢調査結果の人口に加減して算出し、平成24年8月以降は、外国人住民が住民基本台帳に含まれることから、「住民基本台帳」の月々の増減を加減して算出している。本資料は平成27年国勢調査結果による推計人口である。

・人口異動について

推計人口においては、出生と死亡の差を自然動態（自然増減）とし、転入と転出の差にその他の増減を加減したものを社会動態（社会増減）とした。その他の増減とは、実態調査や帰化等及び国籍喪失等による職権記載・消除者数である。転入、転出は市内の区相互間を含んでいる。

人口異動の自然増減率、出生率、死亡率、社会増減率、転入率、転出率は、前年10月1日現在の人口1000人に対する割合（千分比）である。※ 単位：‰（パーミル）

・年齢別人口について

年齢別人口は、平成24年7月までは、国勢調査結果の年齢、男女別人口を基準に、「住民基本台帳」及び「外国人登録」の月々の年齢、男女別人口異動を加減して算出し、平成24年8月以降は、外国人住民が住民基本台帳に含まれることから、「住民基本台帳」の月々の年齢、男女別人口異動を加減して算出した。

1 人口総数

平成 28 年 10 月 1 日の大阪市の推計人口は 270 万 2033 人で、前年（平成 27 年 10 月 1 日）と比べると 1 万 848 人（0.4%）の増加となった。

表 1 人口の推移

年次	人口 (人)	増減数 (人)	増減率 (%)
平成18年	2,634,944	6,133	0.2
19年	2,642,854	7,910	0.3
20年	2,650,670	7,816	0.3
21年	2,659,796	9,126	0.3
22年	2,665,314	5,518	0.2
23年	2,668,972	3,658	0.1
24年	2,674,154	5,182	0.2
25年	2,678,663	4,509	0.2
26年	2,679,808	1,145	0.0
27年	2,691,185	11,377	0.4
28年	2,702,033	10,848	0.4

1 太字は国勢調査結果。その他は各年10月1日の推計人口。

2 国勢調査以外の年については国勢調査結果により修正を行っているため、人口の増減数と後述の人口異動の増減数とは一致しない。

2 男女別人口

平成 28 年の人口を男女別にみると、男性が 130 万 7162 人、女性が 139 万 4871 人となっている。

男女別の人口を平成 27 年と比べると、男性が 4600 人（0.4%）増、女性が 6248 人（0.4%）増とそれぞれ増加している。人口性比（女性 100 人に対する男性の数）は 93.7 となっている。

表 2 男女別人口の推移

年次	男（人）		女（人）		性比
		増減数（人）		増減数（人）	
平成18年	1,280,924	599	1,354,020	5,534	94.6
19年	1,284,596	3,672	1,358,258	4,238	94.6
20年	1,287,428	2,832	1,363,242	4,984	94.4
21年	1,291,950	4,522	1,367,846	4,604	94.5
22年	1,293,798	1,848	1,371,516	3,670	94.3
23年	1,294,751	953	1,374,221	2,705	94.2
24年	1,296,740	1,989	1,377,414	3,193	94.1
25年	1,297,931	1,191	1,380,732	3,318	94.0
26年	1,297,452	△ 479	1,382,356	1,624	93.9
27年	1,302,562	5,110	1,388,623	6,267	93.8
28年	1,307,162	4,600	1,394,871	6,248	93.7

1 太字は国勢調査結果。その他は各年10月1日の推計人口。

2 国勢調査以外の年については国勢調査結果により修正を行っているため、人口の増減数と後述の人口異動の増減数とは一致しない。

3 世帯数

平成 28 年の世帯数は 137 万 3670 世帯で、1 世帯当たり人員は 1.97 人となっている。

これを平成 27 年と比べると、1 万 8877 世帯（1.4%）の増加となっている。

1 世帯当たり人員は減少傾向にあり、平成 27 年の 1.99 人からさらに減少し、平成 28 年では 1.97 人となった。

表 3 世帯数の推移

年次	世帯数 (世帯)	増減数 (世帯)		1 世帯当たり 人員 (人)
		増減数 (世帯)	増減率 (%)	
平成18年	1,261,113	16,101	1.3	2.09
19年	1,273,724	12,611	1.0	2.07
20年	1,289,751	16,027	1.3	2.06
21年	1,305,639	15,888	1.2	2.04
22年	1,317,990	12,351	0.9	2.02
23年	1,324,740	6,750	0.5	2.01
24年	1,332,002	7,262	0.5	2.01
25年	1,338,910	6,908	0.5	2.00
26年	1,345,055	6,145	0.5	1.99
27年	1,354,793	9,738	0.7	1.99
28年	1,373,670	18,877	1.4	1.97

太字は国勢調査結果。その他は各年10月1日の推計人口による。

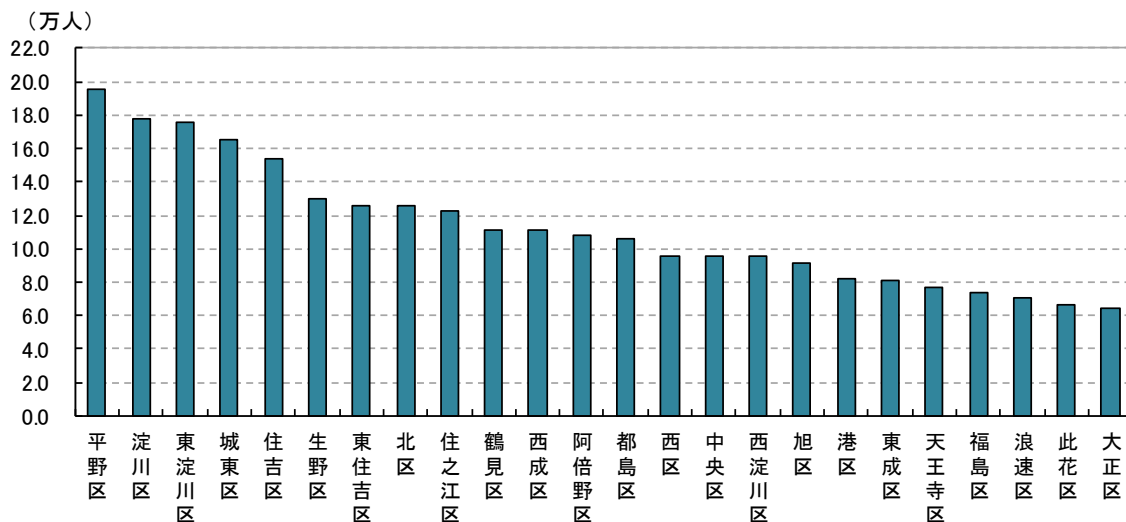
4 区別人口

平成 28 年の人口を区別にみると、平野区が 19 万 5755 人と最も多く、次いで淀川区が 17 万 7868 人、東淀川区が 17 万 5631 人、城東区が 16 万 5360 人、住吉区が 15 万 3869 人と続いている。

この 1 年間の人口増減数を区別にみると、西区が 3092 人と最も多く、次いで中央区が 2388 人、北区が 2316 人など、引き続き市域中心部を中心に増加している一方、西成区が 958 人減と最も少なく、次いで平野区が 878 人減、住之江区が 793 人減、港区が 484 人減、大正区が 469 人減と続いている。

人口増減率は西区が 3.3%と最も高く、次いで中央区が 2.6%、天王寺区が 2.1%、北区が 1.9%、浪速区が 1.8%など、人口増減数と同様に市域中心部で高くなっている一方、西成区が 0.9%減と最も低く、次いで大正区が 0.7%減、港区、住之江区が 0.6%減と続いている。

図 1 区別の推計人口



平成28年10月1日現在推計人口による。

表4-1 区別推計人口

区名	人口（人）		対前年（平成27年）	
	平成28年	平成27年	増減数（人）	増減率（%）
大 阪 市	2,702,033	2,691,185	10,848	0.4
北 区	125,983	123,667	2,316	1.9
都 島 区	105,779	104,727	1,052	1.0
福 島 区	73,352	72,484	868	1.2
此 花 区	66,421	66,656	△ 235	△ 0.4
中 央 区	95,457	93,069	2,388	2.6
西 区	95,522	92,430	3,092	3.3
港 区	81,551	82,035	△ 484	△ 0.6
大 正 区	64,672	65,141	△ 469	△ 0.7
天 王 寺 区	77,290	75,729	1,561	2.1
浪 速 区	71,001	69,766	1,235	1.8
西 淀 川 区	95,374	95,490	△ 116	△ 0.1
淀 川 区	177,868	176,201	1,667	0.9
東 淀 川 区	175,631	175,530	101	0.1
東 成 区	80,733	80,563	170	0.2
生 野 区	129,838	130,167	△ 329	△ 0.3
旭 区	91,458	91,608	△ 150	△ 0.2
城 東 区	165,360	164,697	663	0.4
鶴 見 区	111,575	111,557	18	0.0
阿 倍 野 区	108,193	107,626	567	0.5
住 之 江 区	122,195	122,988	△ 793	△ 0.6
住 吉 区	153,869	154,239	△ 370	△ 0.2
東 住 吉 区	126,231	126,299	△ 68	△ 0.1
平 野 区	195,755	196,633	△ 878	△ 0.4
西 成 区	110,925	111,883	△ 958	△ 0.9

平成27年は国勢調査結果。平成28年は10月1日現在推計人口。

表4-2 人口増減数（上位7区）

順位	平成25年～26年		平成26年～27年		平成27年～28年	
	区名	増減数（人）	区名	増減数（人）	区名	増減数（人）
1	北区	3,170	中央区	4,106	西区	3,092
2	中央区	2,822	北区	2,995	中央区	2,388
3	西区	2,095	西区	2,690	北区	2,316
4	天王寺区	938	浪速区	2,597	淀川区	1,667
5	浪速区	896	天王寺区	1,230	天王寺区	1,561
6	淀川区	612	淀川区	1,188	浪速区	1,235
7	阿倍野区	566	福島区	719	都島区	1,052

表4-3 人口増減数（下位7区）

順位	平成25年～26年		平成26年～27年		平成27年～28年	
	区名	増減数（人）	区名	増減数（人）	区名	増減数（人）
1	西成区	△ 2,299	西成区	△ 2,145	西成区	△ 958
2	住之江区	△ 1,119	住之江区	△ 922	平野区	△ 878
3	東淀川区	△ 989	平野区	△ 795	住之江区	△ 793
4	生野区	△ 986	大正区	△ 788	港区	△ 484
5	平野区	△ 956	東住吉区	△ 612	大正区	△ 469
6	大正区	△ 840	生野区	△ 353	住吉区	△ 370
7	東住吉区	△ 829	西淀川区	△ 272	生野区	△ 329

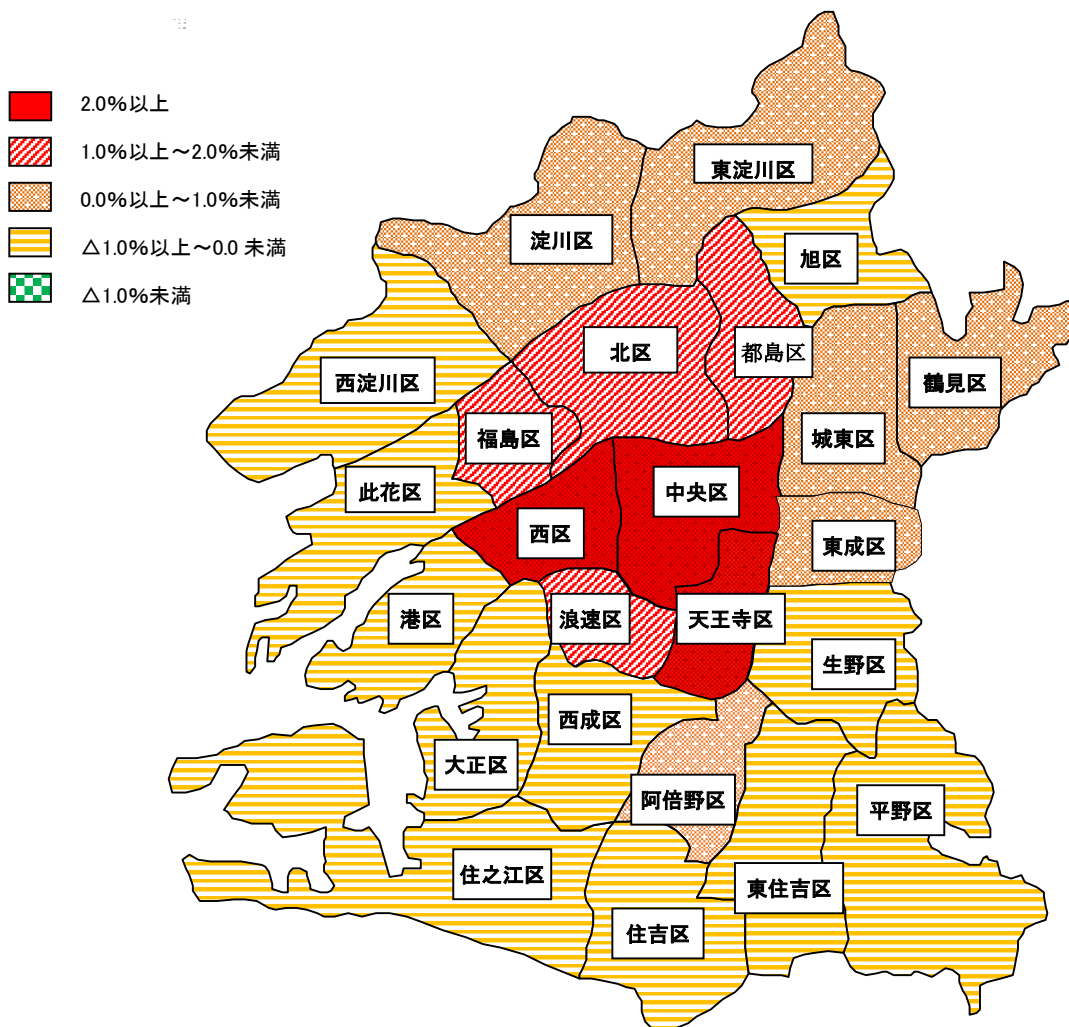
表4-4 人口増減率（上位7区）

順位	平成25年～26年		平成26年～27年		平成27年～28年	
	区名	増減率（%）	区名	増減率（%）	区名	増減率（%）
1	中央区	3.3	中央区	4.6	西区	3.3
2	北区	2.7	浪速区	3.9	中央区	2.6
3	西区	2.4	西区	3.0	天王寺区	2.1
4	浪速区	1.4	北区	2.5	北区	1.9
5	天王寺区	1.3	天王寺区	1.7	浪速区	1.8
6	福島区	0.7	福島区	1.0	福島区	1.2
7	阿倍野区	0.5	淀川区	0.7	都島区	1.0

表4-5 人口増減率（下位7区）

順位	平成25年～26年		平成26年～27年		平成27年～28年	
	区名	増減率（%）	区名	増減率（%）	区名	増減率（%）
1	西成区	△ 2.0	西成区	△ 1.9	西成区	△ 0.9
2	大正区	△ 1.3	大正区	△ 1.2	大正区	△ 0.7
3	住之江区	△ 0.9	住之江区	△ 0.7	住之江区	△ 0.6
4	港区	△ 0.9	東住吉区	△ 0.5	港区	△ 0.6
5	生野区	△ 0.7	平野区	△ 0.4	平野区	△ 0.4
6	西淀川区	△ 0.7	西淀川区	△ 0.3	此花区	△ 0.4
7	東住吉区	△ 0.6	生野区	△ 0.3	生野区	△ 0.3

図2 区別人口増減率の分布（平成27年～28年）



5 区別世帯数

平成28年の世帯数を区別にみると、淀川区が9万6394世帯と最も多く、次いで東淀川区が9万3936世帯、平野区が8万9736世帯、城東区が7万7497世帯、北区が7万5756世帯と続いている。世帯数が最も少ない区は大正区の2万9338世帯で、次いで此花区が3万937世帯、福島区が3万8281世帯と続いている。

この1年間の世帯数の増減数を区別にみると、西区が1966世帯と最も多く、次いで淀川区が1934世帯、中央区が1691世帯、北区が1574世帯と続いており、西成区を除く23区で増加となっている。

世帯数の増減率では、西区が3.8%と最も高く、次いで中央区が2.9%、北区、天王寺区、浪速区が2.3%となっており、市域中心部で高い増減率となっている。

1世帯当たり人員をみると、鶴見区が2.39人と最も多く、次いで大正区、西淀川区が2.20人、平野区が2.18人、東住吉区が2.17人と続いている。一方、最も少ない区は浪速区の1.46人であり、次いで中央区が1.57人、西成区が1.60人と続いている。

表5-1 区別世帯数

	世帯数（世帯）		対前年（平成27年）		1世帯当たり 人員（人）
	平成28年	平成27年	増減数（世帯）	増減率（%）	平成28年
大阪市	1,373,670	1,354,793	18,877	1.4	1.97
北 区	75,756	74,182	1,574	2.1	1.66
都 島 区	52,714	51,549	1,165	2.3	2.01
福 島 区	38,281	37,510	771	2.1	1.92
此 花 区	30,937	30,712	225	0.7	2.15
中 央 区	60,775	59,084	1,691	2.9	1.57
西 区	54,104	52,138	1,966	3.8	1.77
港 区	40,448	40,348	100	0.2	2.02
大 正 区	29,338	29,209	129	0.4	2.20
天 王 寺 区	38,938	38,058	880	2.3	1.98
浪 速 区	48,645	47,541	1,104	2.3	1.46
西 淀 川 区	43,358	42,924	434	1.0	2.20
淀 川 区	96,394	94,460	1,934	2.0	1.85
東 淀 川 区	93,936	92,536	1,400	1.5	1.87
東 成 区	40,262	39,683	579	1.5	2.01
生 野 区	64,388	63,622	766	1.2	2.02
旭 区	43,909	43,700	209	0.5	2.08
城 東 区	77,497	76,455	1,042	1.4	2.13
鶴 見 区	46,732	46,358	374	0.8	2.39
阿 倍 野 区	50,692	50,104	588	1.2	2.13
住 之 江 区	57,408	56,920	488	0.9	2.13
住 吉 区	72,034	71,718	316	0.4	2.14
東 住 吉 区	58,262	57,797	465	0.8	2.17
平 野 区	89,736	88,960	776	0.9	2.18
西 成 区	69,126	69,225	△ 99	△ 0.1	1.60

平成27年は国勢調査結果。平成28年は10月1日現在推計人口による。

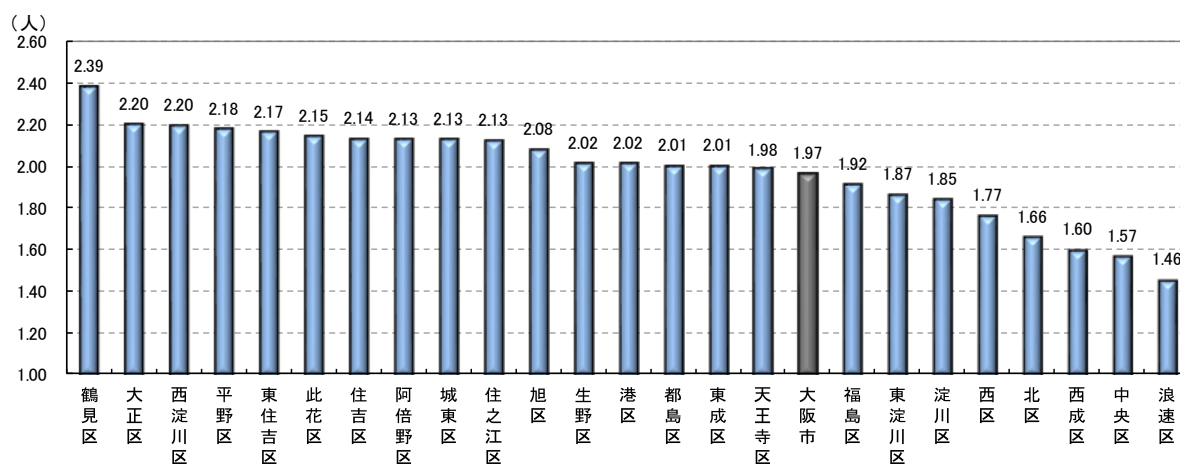
表5-2 世帯数及び1世帯当たり世帯人員（上位・下位5区）

世帯数（世帯）			
上位5区		下位5区	
淀川区	96,394	大正区	29,338
東淀川区	93,936	此花区	30,937
平野区	89,736	福島区	38,281
城東区	77,497	天王寺区	38,938
北区	75,756	東成区	40,262

1世帯当たり世帯人員(人)			
上位5区		下位5区	
鶴見区	2.39	浪速区	1.46
大正区	2.20	中央区	1.57
西淀川区	2.20	西成区	1.60
平野区	2.18	北区	1.66
東住吉区	2.17	西区	1.77

平成28年10月1日現在推計人口による。

図3 区別1世帯当たり世帯人員



平成28年10月1日現在推計人口による。

6 人口異動（前年 10 月中から当年 9 月中の合計）

(1) 自然動態

平成 28 年の自然動態（出生と死亡の差）は 5530 人の減少となり、平成 27 年の自然動態（5742 人減）と比べると、212 人の増加となった。また、自然増減率は前年と同じ 2.1%減となっている。

自然増減数を区別にみると、西区が 595 人と最も多く、次いで中央区が 483 人、北区が 397 人、福島区が 270 人など 7 区で増加となっている一方、西成区が 2071 人減と最も少なく、次いで生野区が 979 人減、平野区が 703 人減、東住吉区が 606 人減と続いている。

自然増減率では、西区が 6.4%と最も高く、次いで中央区が 5.2%、福島区が 3.7%と続いている一方、西成区が 18.5%減と最も低く、次いで生野区が 7.5%減、大正区が 6.8%減と続いている。

ア 出生

平成 28 年の出生数は 2 万 2968 人で、平成 27 年（2 万 2972 人）と比べると 4 人の減少となり、出生率は 8.5%（前年 8.6%）となっている。

出生数を区別にみると、淀川区が 1593 人と最も多く、次いで平野区が 1561 人、城東区が 1403 人、東淀川区が 1396 人と続いている。出生数が最も少ない区は大正区の 443 人となっている。

出生率では、西区が 12.8%と最も高く、次いで中央区が 11.8%、福島区が 11.1%、天王寺区が 10.4%と続いている。最も低い区は西成区の 4.6%となっている。

イ 死亡

平成 28 年の死亡数は 2 万 8498 人で、平成 27 年（2 万 8714 人）と比べると 216 人の減少となり、死亡率は 10.6%（前年は 10.7%）となっている。

死亡数を区別にみると、西成区が 2558 人と最も多く、次いで平野区が 2264 人、生野区が 1847 人、東淀川区が 1707 人と続いている。死亡数が最も少ない区は福島区の 535 人である。

死亡率では、西成区が 23.1%と最も高く、次いで生野区が 14.2%、大正区が 13.6%と続いている。最も低い区は西区の 6.3%となっている。

ウ 外国人の自然動態

平成 28 年の自然動態のうち、外国人は 298 人の減少となり、平成 27 年の自然動態（437 人減）と比べると、139 人の増加となった。

外国人の出生数は 604 人で、平成 27 年（539 人）と比べると 65 人の増加となっており、死亡数は 902 人で、平成 27 年（976 人）と比べると 74 人の減少となっている。

表6-1 自然動態の推移

年次	自然増減			出生			死亡		
	増減数 (人)	対前年 (人)	自然 増減率 (%)	出生数 (人)	対前年 (人)	出生率 (%)	死亡数 (人)	対前年 (人)	死亡率 (%)
平成18年	△ 1,412	466	△ 0.5	22,823	117	8.7	24,235	△ 349	9.2
19年	△ 1,660	△ 248	△ 0.6	23,568	745	8.9	25,228	993	9.6
20年	△ 1,506	154	△ 0.6	24,028	460	9.1	25,534	306	9.7
21年	△ 1,703	△ 197	△ 0.6	23,346	△ 682	8.8	25,049	△ 485	9.5
22年	△ 3,184	△ 1,481	△ 1.2	23,608	262	8.9	26,792	1,743	10.1
23年	△ 3,945	△ 761	△ 1.5	23,766	158	8.9	27,711	919	10.4
24年	△ 4,337	△ 392	△ 1.6	23,067	△ 699	8.6	27,404	△ 307	10.3
25年	△ 5,305	△ 968	△ 2.0	23,234	167	8.7	28,539	1,135	10.7
26年	△ 5,300	5	△ 2.0	22,810	△ 424	8.5	28,110	△ 429	10.5
27年	△ 5,742	△ 442	△ 2.1	22,972	162	8.6	28,714	604	10.7
28年	△ 5,530	212	△ 2.1	22,968	△ 4	8.5	28,498	△ 216	10.6

1 自然増減数、出生数、死亡数は前年10月中から当年9月中の合計である。

2 自然増減率、出生率、死亡率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

3 平成22年、27年以外の年の推計人口は、平成22年国勢調査結果により修正を行っているため、人口異動の増減数と前述の人口推移の増減数とは一致しない。

表6-2 区別自然動態

区名	自然 増減数 (人)	自然 増減率 (%)	出生数 (人)	出生率 (%)	死亡数 (人)	死亡率 (%)
大阪市	△ 5,530	△ 2.1	22,968	8.5	28,498	10.6
北区	397	3.2	1,244	10.1	847	6.8
都島区	△ 127	△ 1.2	884	8.4	1,011	9.7
福島区	270	3.7	805	11.1	535	7.4
此花区	△ 93	△ 1.4	587	8.8	680	10.2
中央区	483	5.2	1,098	11.8	615	6.6
西区	595	6.4	1,180	12.8	585	6.3
港区	△ 284	△ 3.5	635	7.7	919	11.2
大正区	△ 445	△ 6.8	443	6.8	888	13.6
天王寺区	215	2.8	787	10.4	572	7.6
浪速区	△ 30	△ 0.4	642	9.2	672	9.6
西淀川区	△ 148	△ 1.5	793	8.3	941	9.9
淀川区	29	0.2	1,593	9.0	1,564	8.9
東淀川区	△ 311	△ 1.8	1,396	8.0	1,707	9.7
東成区	△ 224	△ 2.8	679	8.4	903	11.2
生野区	△ 979	△ 7.5	868	6.7	1,847	14.2
旭区	△ 339	△ 3.7	715	7.8	1,054	11.5
城東区	△ 237	△ 1.4	1,403	8.5	1,640	10.0
鶴見区	199	1.8	1,151	10.3	952	8.5
阿倍野区	△ 210	△ 2.0	883	8.2	1,093	10.2
住之江区	△ 512	△ 4.2	862	7.0	1,374	11.2
住吉区	△ 399	△ 2.6	1,266	8.2	1,665	10.8
東住吉区	△ 606	△ 4.8	976	7.7	1,582	12.5
平野区	△ 703	△ 3.6	1,561	7.9	2,264	11.5
西成区	△ 2,071	△ 18.5	517	4.6	2,588	23.1

1 自然増減数、出生数、死亡数は前年10月中から当年9月中の合計である。

2 自然増減率、出生率、死亡率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

表6-3 自然増減率、出生率及び死亡率（上位7区）

順位	自然増減率		出生率		死亡率	
	区名	(%)	区名	(%)	区名	(%)
1	西区	6.4	西区	12.8	西成区	23.1
2	中央区	5.2	中央区	11.8	生野区	14.2
3	福島区	3.7	福島区	11.1	大正区	13.6
4	北区	3.2	天王寺区	10.4	東住吉区	12.5
5	天王寺区	2.8	鶴見区	10.3	平野区	11.5
6	鶴見区	1.8	北区	10.1	旭区	11.5
7	淀川区	0.2	浪速区	9.2	東成区	11.2

自然増減率、出生率、死亡率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

表6-4 自然動態の推移（外国人）

年次	自然増減			出生			死亡		
	増減数 (人)	対前年 (人)	対前年増加率 (%)	実数 (人)	対前年 (人)	対前年増加率 (%)	実数 (人)	対前年 (人)	対前年増加率 (%)
平成20年	△ 406	△ 56	△ 16.0	486	△ 25	△ 4.9	892	31	3.6
21年	△ 402	4	1.0	476	△ 10	△ 2.1	878	△ 14	△ 1.6
22年	△ 473	△ 71	△ 17.7	466	△ 10	△ 2.1	939	61	6.9
23年	△ 502	△ 29	△ 6.1	496	30	6.4	998	59	6.3
24年	△ 327	175	34.9	537	41	8.3	864	△ 134	△ 13.4
25年	△ 415	△ 88	△ 26.9	531	△ 6	△ 1.1	946	82	9.5
26年	△ 366	49	11.8	574	43	8.1	940	△ 6	△ 0.6
27年	△ 437	△ 71	△ 19.4	539	△ 35	△ 6.1	976	36	3.8
28年	△ 298	139	31.8	604	65	12.1	902	△ 74	△ 7.6

自然増減数、出生数、死亡数は前年10月中から当年9月中の合計である。

（2）社会動態

平成28年の社会動態（転入と転出の差）は1万6378人の増加となった。また、社会増減率は6.1‰となっている。

社会増減数を区別にみると、西区が2497人と最も多く、次いで北区が1919人、中央区が1905人、淀川区が1638人、天王寺区が1346人など18区で増加となっている一方、住之江区が281人減と最も少なく、次いで港区が200人減、鶴見区が181人減と続いている。

社会増減率では、西区が27.0‰と最も高く、次いで中央区が20.5‰、浪速区が18.1‰、天王寺区が17.8‰、北区15.5‰など、市域中心部で高い増加率となっている一方、港区が2.4‰減で最も低く、住之江区が2.3‰減、此花区が2.1‰減と続いている。

ア 転入

平成28年の転入数は18万9981人で、転入率は70.6‰となっている。

転入数を区別にみると、中央区が1万4144人と最も多く、次いで淀川区が1万4069人、北区が1万3596人、東淀川区が1万1747人、西区が1万1595人と続いている。転入数が最も少ない区は大正区の2615人である。

転入率では、浪速区が157.4‰と最も高く、次いで中央区が152.0‰、西区が125.4‰、北区が109.9‰と続いている。転入率でも、大正区が40.1‰と最も低くなっている。

イ 転出

平成 28 年の転出数は 17 万 232 人で、転出率は 63.3%となっている。

転出数を区別にみると、淀川区が 1 万 2261 人と最も多く、次いで中央区が 1 万 1720 人、北区が 1 万 1371 人、東淀川区が 1 万 1274 人と続く。転出数が最も少ない区は大正区の 2579 人である。

転出率では、浪速区が 137.0%と最も高く、次いで中央区が 125.9%、西区が 96.3%、北区が 91.9%と続いている。転出率においても、大正区が 39.6%と最も低くなっている。

ウ その他増減

平成 28 年のその他増減数（実態調査や帰化等及び国籍喪失等による職権記載・消除者数）は、3371 人減となった。

その他増減数を区別にみると、城東区が 0 人で、次いで住吉区が 13 人減、福島区が 15 人減と続いており、中央区で 519 人減と最も減少が大きくなっている。

エ 外国人の社会動態

平成 28 年の社会動態のうち、外国人は 5095 人の増加となった。

外国人の転入及び入国数は 3 万 1 人となっており、転出及び出国数は 2 万 931 人で、平成 27 年と比べるといずれも増加となっている。

表 6-5 社会動態の推移

年次	社会増減			転入			転出			その他増減	
	増減数 (人)	対前年 (人)	社会 増減率 (%)	実数 (人)	対前年 (人)	転入率 (%)	実数 (人)	対前年 (人)	転出率 (%)	実数 (人)	対前年 (人)
平成18年	8,021	△ 123	3.1	178,432	△ 574	67.9	170,411	△ 451	64.8
19年	10,045	2,024	3.8	180,072	1,640	68.3	170,027	△ 384	64.5
20年	9,800	△ 245	3.7	179,069	△ 1,003	67.8	169,269	△ 758	64.0
21年	11,304	1,504	4.3	181,851	2,782	68.6	170,547	1,278	64.3
22年	9,178	△ 2,126	3.5	177,693	△ 4,158	66.8	168,515	△ 2,032	63.4
23年	9,210	32	3.5	175,872	△ 1,821	66.0	166,662	△ 1,853	62.5
24年	11,133	1,923	4.2	175,509	△ 363	65.8	164,376	△ 2,286	61.6
25年	11,417	284	4.3	177,364	1,855	66.3	165,947	1,571	62.1
26年	8,059	△ 3,358	3.0	178,011	647	66.5	169,952	4,005	63.4
27年	18,726	10,667	7.0	185,808	7,797	69.3	167,082	△ 2,870	62.3
28年	16,378	△ 2,348	6.1	189,981	4,173	70.6	170,232	3,150	63.3	△ 3,371	...

1 社会増減数、転入数、転出数、その他増減数は前年10月中から当年9月中の合計である。

2 社会増減率、転入率、転出率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

3 平成22年、27年以外の年の推計人口は、国勢調査結果により修正を行っているため、人口異動の増減数と前述の人口推移の増減数とは一致しない。

表6-6 区別社会動態

区名	社会増減数 (人)	社会増減率 (%)	転入数 (人)	転入率 (%)	転出数 (人)	転出率 (%)	その他増減数 (人)
大阪市	16,378	6.1	189,981	70.6	170,232	63.3	△ 3,371
北区	1,919	15.5	13,596	109.9	11,371	91.9	△ 306
都島区	1,179	11.3	7,204	68.8	5,952	56.8	△ 73
福島区	598	8.3	5,942	82.0	5,329	73.5	△ 15
此花区	△ 142	△ 2.1	3,202	48.0	3,298	49.5	△ 46
中央区	1,905	20.5	14,144	152.0	11,720	125.9	△ 519
西区	2,497	27.0	11,595	125.4	8,901	96.3	△ 197
港区	△ 200	△ 2.4	4,222	51.5	4,199	51.2	△ 223
大正区	△ 24	△ 0.4	2,615	40.1	2,579	39.6	△ 60
天王寺区	1,346	17.8	7,223	95.4	5,852	77.3	△ 25
浪速区	1,265	18.1	10,981	157.4	9,561	137.0	△ 155
西淀川区	32	0.3	4,830	50.6	4,696	49.2	△ 102
淀川区	1,638	9.3	14,069	79.8	12,261	69.6	△ 170
東淀川区	412	2.3	11,747	66.9	11,274	64.2	△ 61
東成区	394	4.9	5,725	71.1	5,183	64.3	△ 148
生野区	650	5.0	8,232	63.2	7,477	57.4	△ 105
旭区	189	2.1	4,938	53.9	4,641	50.7	△ 108
城東区	900	5.5	9,831	59.7	8,931	54.2	0
鶴見区	△ 181	△ 1.6	5,244	47.0	5,394	48.4	△ 31
阿倍野区	777	7.2	7,290	67.7	6,379	59.3	△ 134
住之江区	△ 281	△ 2.3	5,283	43.0	5,480	44.6	△ 84
住吉区	29	0.2	8,490	55.0	8,448	54.8	△ 13
東住吉区	538	4.3	7,441	58.9	6,668	52.8	△ 235
平野区	△ 175	△ 0.9	8,570	43.6	8,581	43.6	△ 164
西成区	1,113	9.9	7,567	67.6	6,057	54.1	△ 397

- 1 社会増減数、転入数、転出数、その他増減数は前年10月中から当年9月中の合計である。
- 2 社会増減率、転入率、転出率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰(パーミル)である。

表6-7 社会増減率、転入率及び転出率(上位7区)

順位	社会増減率		転入率		転出率	
	区名	(%)	区名	(%)	区名	(%)
1	西区	27.0	浪速区	157.4	浪速区	137.0
2	中央区	20.5	中央区	152.0	中央区	125.9
3	浪速区	18.1	西区	125.4	西区	96.3
4	天王寺区	17.8	北区	109.9	北区	91.9
5	北区	15.5	天王寺区	95.4	天王寺区	77.3
6	都島区	11.3	福島区	82.0	福島区	73.5
7	西成区	9.9	淀川区	79.8	淀川区	69.6

社会増減率、転入率、転出率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰(パーミル)である。

表6-8 社会動態の推移(外国人)

年次	社会増減			転入+入国			転出+出国			その他増減	
	増減数 (人)	対前年 (人)	対前年増加率 (%)	実数 (人)	対前年 (人)	対前年増加率 (%)	実数 (人)	対前年 (人)	対前年増加率 (%)	実数 (人)	対前年 (人)
平成21年	1,635	△ 617	△ 27.4	20,608	24	0.1	18,973	641	3.5
22年	1,345	△ 290	△ 17.7	20,320	△ 288	△ 1.4	18,975	2	0.0
23年	1,003	△ 342	△ 25.4	21,205	885	4.4	20,202	1,227	6.5
24年	2,313	1,310	130.6	20,793	△ 412	△ 1.9	18,480	△ 1,722	△ 8.5
25年	2,617	304	13.1	20,889	96	0.5	18,272	△ 208	△ 1.1
26年	861	△ 1,756	△ 67.1	22,206	1,317	6.3	21,345	3,073	16.8
27年	6,438	5,577	647.7	25,517	3,311	14.9	19,079	△ 2,266	△ 10.6
28年	5,095	△ 1,343	△ 20.9	30,001	4,484	17.6	20,931	1,852	9.7	△ 3,975	...

社会増減数、転入+入国数、転出+出国数、その他増減数は前年10月中から当年9月中の合計である。

7 年齢別人口

(1) 年齢(3区分)別人口

平成28年の人口について年齢(3区分)別割合をみると、0～14歳人口(年少人口)は10.9%、15～64歳人口(生産年齢人口)は63.5%、65歳以上人口(老年人口)は25.6%となっており、65歳以上人口の割合のみが、平成27年(25.3%)と比べて上昇している。

表7-1 年齢(3区分)別推計人口

年次	人口(人)					割合(%)				
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	うち 75歳以上	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	うち 75歳以上
平成27年	2,691,185	295,298	1,682,798	668,698	317,893	100.0	11.2	63.6	25.3	12.0
28年	2,702,033	295,112	1,715,126	691,795	338,313	100.0	10.9	63.5	25.6	12.5

- 1 平成27年は国勢調査結果。平成28年は10月1日現在年齢別推計人口。
- 2 平成27年の人口総数は年齢「不詳」を含むため、年齢(3区分)別人口の合計と一致しない。
- 3 平成27年の構成比は年齢「不詳」を除いて算出している。
- 4 平成28年は年齢「不詳」を各歳に按分している。

(2) 区別の年齢(3区分)別人口

区別の年齢(3区分)別人口を平成27年と比べると、年少人口の増加が最も大きいのは西区の607人増で、最も減少が大きいのは平野区の586人減であった。生産年齢人口では、北区の5601人増が最も多く、最も減少が大きかったのは大正区の418人減であった。老年人口では、西成区の2756人増が最も多いものの、全ての区でそれぞれ増加となった。

表7-2 区別の年齢(3区分)別人口

区名	平成28年				平成27年からの増減数		
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
大阪市	2,702,033	295,112	1,715,126	691,795	△186	32,328	23,097
北区	125,983	10,945	90,799	24,239	412	5,601	1,466
都島区	105,779	12,034	68,212	25,533	133	1,723	1,252
福島区	73,352	8,605	49,916	14,831	135	1,521	650
此花区	66,421	7,843	40,806	17,772	△51	△12	487
中央区	95,457	8,356	71,376	15,725	404	1,720	354
西区	95,522	10,818	69,438	15,266	607	3,924	775
港区	81,551	8,711	50,296	22,543	△88	711	851
大正区	64,672	7,088	37,734	19,850	△204	△418	302
天王寺区	77,290	9,905	51,883	15,502	382	2,720	973
浪速区	71,001	4,802	52,493	13,706	172	4,065	968
西淀川区	95,374	12,067	59,422	23,885	△272	△47	553
淀川区	177,868	18,136	118,505	41,227	△3	2,665	1,262
東淀川区	175,631	17,891	114,956	42,784	△365	2,520	1,660
東成区	80,733	8,692	51,062	20,979	△91	1,132	663
生野区	129,838	11,879	76,714	41,246	△103	△72	625
旭区	91,458	9,503	54,712	27,243	△16	△182	409
城東区	165,360	20,343	102,824	42,193	△77	930	1,111
鶴見区	111,575	17,085	69,648	24,843	△213	610	761
阿倍野区	108,193	13,455	66,863	27,875	143	914	704
住之江区	122,195	13,214	73,040	35,942	△265	△388	1,455
住吉区	153,869	18,154	93,377	42,337	△123	193	784
東住吉区	126,231	14,295	74,765	37,170	△57	197	569
平野区	195,755	23,621	116,972	55,162	△586	621	1,708
西成区	110,925	7,669	59,313	43,943	△61	1,680	2,756

平成27年の総数は年齢「不詳」を含むため、内訳とは一致しない。平成28年は年齢「不詳」を各歳に按分している。

区別の年齢（3区分）別人口の割合をみると、年少人口では鶴見区が15.3%と最も高く、次いで天王寺区が12.8%、西淀川区が12.7%と続く。最も低いのは浪速区の6.8%となっている。

生産年齢人口では中央区が74.8%と最も高く、次いで浪速区が73.9%と続く。最も割合が低いのは西成区の53.5%となっている。

老年人口では西成区が39.6%と最も高く、次いで生野区が31.8%と続く。最も割合が低いのは西区の16.0%となっている。

表7-3 区別の年齢（3区分）別人口割合

区名	（％）							（ポイント）		
	平成28年				平成27年からの増減					
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上			
大 阪 市	100.0	10.9	63.5	25.6	△ 0.23	△ 0.10	0.34			
北 区	100.0	8.7	72.1	19.2	△ 0.20	0.18	0.02			
都 島 区	100.0	11.4	64.5	24.1	△ 0.21	△ 0.27	0.49			
福 島 区	100.0	11.7	68.0	20.2	△ 0.19	△ 0.07	0.26			
此 花 区	100.0	11.8	61.4	26.8	△ 0.15	△ 0.41	0.57			
中 央 区	100.0	8.8	74.8	16.5	0.20	△ 0.14	△ 0.06			
西 区	100.0	11.3	72.7	16.0	0.01	0.07	△ 0.08			
港 区	100.0	10.7	61.7	27.6	△ 0.31	△ 0.25	0.55			
大 正 区	100.0	11.0	58.3	30.7	△ 0.26	△ 0.36	0.62			
天 王 寺 区	100.0	12.8	67.1	20.1	△ 0.19	△ 0.02	0.21			
浪 速 区	100.0	6.8	73.9	19.3	△ 0.27	0.33	△ 0.06			
西 淀 川 区	100.0	12.7	62.3	25.0	△ 0.32	△ 0.20	0.52			
淀 川 区	100.0	10.2	66.6	23.2	△ 0.23	0.03	0.20			
東 淀 川 区	100.0	10.2	65.5	24.4	△ 0.44	0.01	0.43			
東 成 区	100.0	10.8	63.2	26.0	△ 0.35	0.07	0.28			
生 野 区	100.0	9.1	59.1	31.8	△ 0.11	△ 0.26	0.37			
旭 区	100.0	10.4	59.8	29.8	△ 0.04	△ 0.34	0.38			
城 東 区	100.0	12.3	62.2	25.5	△ 0.19	△ 0.18	0.37			
鶴 見 区	100.0	15.3	62.4	22.3	△ 0.35	△ 0.10	0.46			
阿 倍 野 区	100.0	12.4	61.8	25.8	△ 0.07	△ 0.16	0.24			
住 之 江 区	100.0	10.8	59.8	29.4	△ 0.29	△ 0.71	1.00			
住 吉 区	100.0	11.8	60.7	27.5	△ 0.15	△ 0.21	0.36			
東 住 吉 区	100.0	11.3	59.2	29.4	△ 0.11	△ 0.18	0.29			
平 野 区	100.0	12.1	59.8	28.2	△ 0.41	△ 0.22	0.63			
西 成 区	100.0	6.9	53.5	39.6	△ 0.34	△ 0.62	0.96			

表7-4 年齢（3区分）別人口割合（上位7区）

順位	0～14歳		15歳～64歳		65歳以上	
	区名	割合（％）	区名	割合（％）	区名	割合（％）
1	鶴見区	15.3	中央区	74.8	西成区	39.6
2	天王寺区	12.8	浪速区	73.9	生野区	31.8
3	西淀川区	12.7	西区	72.7	大正区	30.7
4	阿倍野区	12.4	北区	72.1	旭区	29.8
5	城東区	12.3	福島区	68.0	東住吉区	29.4
6	平野区	12.1	天王寺区	67.1	住之江区	29.4
7	此花区	11.8	淀川区	66.6	平野区	28.2

平成28年10月1日現在の人口に対する割合である。

(3) 年齢(5歳階級)別社会動態

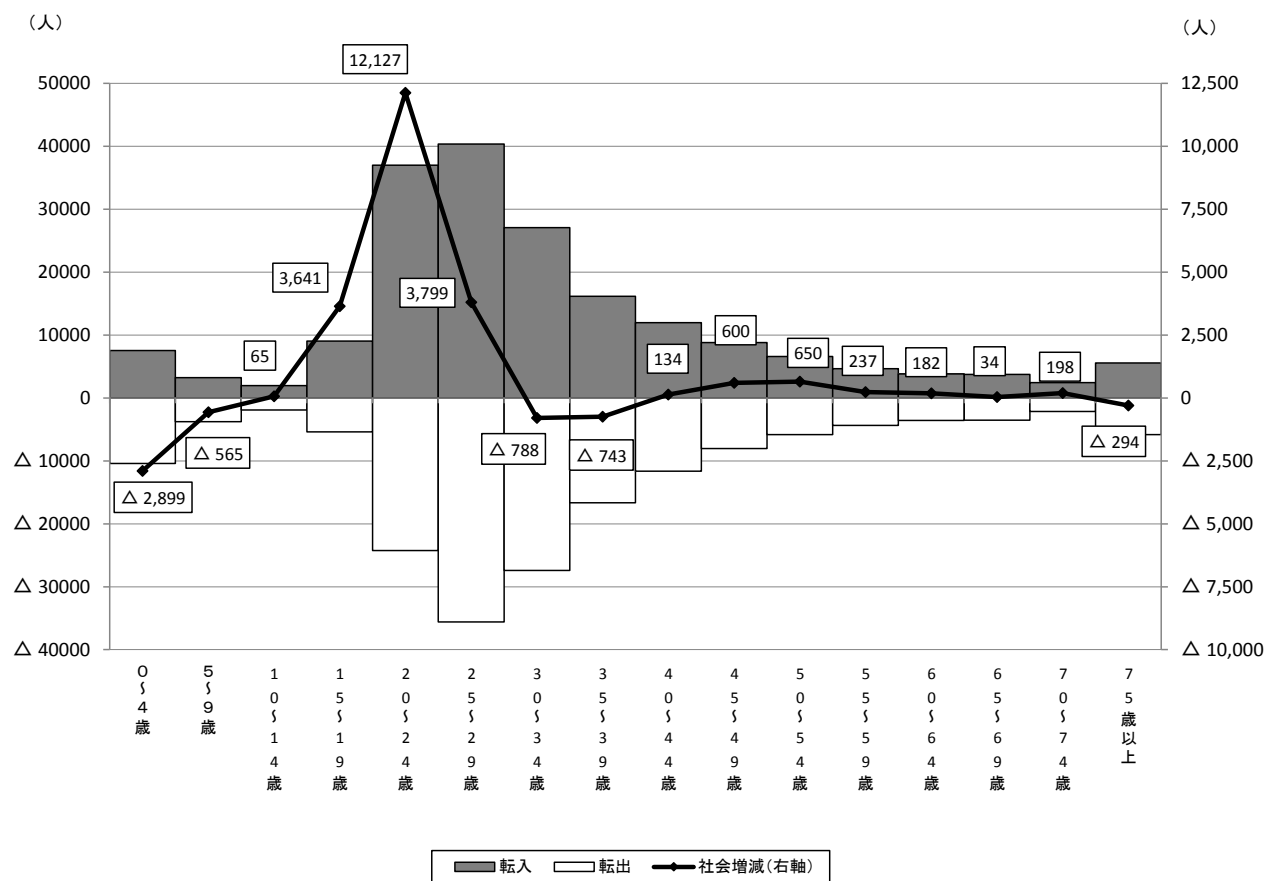
平成28年の社会増減を年齢（5歳階級）別にみると、15歳から29歳までの各階級で3000人を超える増加となっており、特に「20～24歳」では1万2127人となっている。これに対して、30歳

から 39 歳及び 0 歳から 9 歳までの各階級（世帯形成層・育児層及びその子どもの層）ではマイナスとなっている。

表 7-5 年齢（5 歳階級）別転入、転出、その他増減及び社会増減数

(人)								
	0～4 歳	5～9 歳	10～14 歳	15～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳
転入	7,537	3,222	1,979	9,045	36,992	40,357	27,063	16,147
転出	10,396	3,747	1,890	5,381	24,247	35,588	27,420	16,670
その他増減	△ 40	△ 40	△ 24	△ 23	△ 618	△ 970	△ 431	△ 220
社会増減	△ 2,899	△ 565	65	3,641	12,127	3,799	△ 788	△ 743
	40～44 歳	45～49 歳	50～54 歳	55～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75 歳以上
転入	11,983	8,815	6,589	4,672	3,839	3,758	2,425	5,558
転出	11,621	8,041	5,835	4,345	3,561	3,513	2,154	5,823
その他増減	△ 228	△ 174	△ 104	△ 90	△ 96	△ 211	△ 73	△ 29
社会増減	134	600	650	237	182	34	198	△ 294

図 4 年齢（5 歳階級）別社会動態



(4) 区別の年齢（5 歳階級）別社会動態

区別の社会増減を年齢（5 歳階級）別にみると、15 歳から 29 歳までの階級では淀川区が 2197 人と最も多く、次いで中央区が 1981 人、北区が 1976 人、西区が 1879 人と続いている。30 歳から 39 歳までの階級では東淀川区が 651 人減と最も少なく、次いで淀川区が 296 人減、港区が 259 人減、平野区が 254 人減、浪速区が 225 人減と続いている。

表 7-6 区別の年齢（5歳階級）別社会増減数

(人)								
区名	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
大阪市	△ 2,899	△ 565	65	3,641	12,127	3,799	△ 788	△ 743
北区	△ 281	△ 11	21	245	1,111	620	34	8
都島区	△ 13	△ 28	20	86	527	344	32	57
福島区	△ 172	△ 10	0	68	543	370	△ 21	△ 70
此花区	△ 87	△ 42	△ 9	70	127	△ 75	△ 30	△ 28
中央区	△ 248	△ 30	22	223	1,174	584	77	3
西区	△ 45	11	△ 7	180	1,134	565	330	107
港区	△ 104	△ 13	5	58	300	43	△ 154	△ 105
大正区	△ 12	△ 19	△ 17	42	36	3	△ 17	△ 6
天王寺区	49	75	48	124	306	196	66	148
浪速区	△ 195	△ 38	3	404	1,042	164	△ 162	△ 63
西淀川区	△ 90	△ 38	△ 23	73	272	84	△ 50	△ 53
淀川区	△ 334	△ 86	△ 21	289	1,581	327	△ 144	△ 152
東淀川区	△ 453	△ 108	△ 13	409	1,289	△ 16	△ 400	△ 251
東成区	△ 110	△ 35	△ 16	102	561	147	△ 85	△ 55
生野区	△ 57	△ 25	0	308	359	△ 24	△ 91	△ 99
旭区	△ 54	△ 1	25	118	237	△ 8	△ 94	△ 17
城東区	△ 118	△ 23	14	91	418	297	131	3
鶴見区	△ 213	△ 42	4	7	24	178	1	△ 81
阿倍野区	106	66	43	120	118	109	103	146
住之江区	△ 103	△ 26	△ 18	10	97	△ 25	△ 76	△ 90
住吉区	△ 159	△ 28	20	145	225	5	△ 106	△ 15
東住吉区	49	2	2	105	173	△ 3	70	22
平野区	△ 202	△ 76	△ 20	104	104	△ 84	△ 130	△ 124
西成区	△ 53	△ 40	△ 18	260	369	△ 2	△ 72	△ 28
区名	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
大阪市	134	600	650	237	182	34	198	△ 294
北区	69	144	40	28	△ 38	△ 44	7	△ 34
都島区	22	54	34	11	△ 2	11	12	12
福島区	△ 3	△ 9	△ 31	△ 13	△ 17	△ 35	2	△ 4
此花区	△ 43	△ 3	43	△ 3	14	△ 20	△ 8	△ 48
中央区	83	50	68	15	△ 5	△ 45	△ 20	△ 46
西区	121	36	65	34	1	11	△ 3	△ 43
港区	△ 38	△ 10	△ 1	△ 8	△ 35	△ 44	△ 26	△ 68
大正区	△ 18	36	△ 7	△ 9	△ 22	△ 8	22	△ 28
天王寺区	129	71	62	10	5	32	25	0
浪速区	24	20	30	28	0	△ 24	14	18
西淀川区	△ 40	2	△ 6	△ 30	△ 9	△ 12	△ 4	△ 44
淀川区	△ 48	127	85	93	△ 4	△ 3	10	△ 82
東淀川区	△ 45	△ 28	6	△ 43	23	20	5	17
東成区	△ 60	13	△ 19	5	△ 3	△ 28	△ 13	△ 10
生野区	8	43	35	32	35	42	25	59
旭区	△ 15	△ 22	26	11	2	△ 25	0	6
城東区	29	1	33	△ 1	12	19	30	△ 36
鶴見区	△ 63	△ 29	△ 24	1	17	24	17	△ 2
阿倍野区	66	30	△ 1	△ 20	△ 6	△ 9	△ 20	△ 74
住之江区	△ 22	0	5	△ 16	△ 20	△ 2	△ 4	9
住吉区	10	△ 48	24	29	35	△ 8	10	△ 110
東住吉区	8	63	44	△ 13	△ 30	1	△ 2	47
平野区	△ 77	△ 10	28	0	63	86	79	84
西成区	37	69	111	96	166	95	40	83